

## 第2回「和楽器による作詞・作曲コンテスト」 審査報告と入賞者紹介

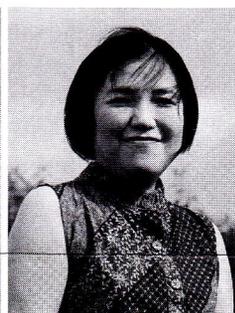
今回は「一般の部」には20作品、「小中学生の部」には3作品の応募があった。結果は常任理事会報告のとおりで、両部門とも昨年と同じ人が1席入賞を果たした。ご両人ともそれだけ優れた才能を持っている。

「一般の部」は2次審査に上がった8曲を17人の常任委員と執行部が聴いて、それぞれ10点満点で審査した。ほぼ筆が使われていたが、なかには尺八+大正琴+打ち込み、太鼓+打ち込みといったものもあり、和楽器の存在感がないものもあった。それらは必然的に低得点となった。

昨年「風鈴」で1席入賞した旭川出身の大西直子さん(51歳)は、今年は「メリークリスマス2011」で応募。箏の高音を多用し、長調の爽やかな曲に仕上げた。声質、歌唱力は抜群だ。「白い粉雪。大地は等しく平等に白く覆われるのだ。子どもたちの笑い声が明日への光となる。Merry Xmas 2011 Japan...再生」とメッセージをこの歌に寄せている。大西さんは、現在、沢井一恵に師事し、ソロ活動のほかにはアフリカンドラムやギターを加えた「なお BAND」として施設や学校などで箏と声を聞かせている。

佳作となった東京在住の高橋直也さん(27歳)は「未来のふるさと」。フォークソング調の短調の曲で、きれいな声で切なくうたいあげる。「世界中の人とともに手をさしのべて、想像を絶する悲しみを乗り越えられるよう、自分もわずかでも力になれたらとの思いを込めて作詞・作曲した」とメッセージ。高橋さんは9歳から箏をはじめた。早稲田大学大学院(理工)を卒業し、NHK育成会52期を修了。賞歴は多く、東京邦楽コンクールに2回、箏によるポップスコンクールに2回、くまもと全国邦楽コンクールに1回入賞と、箏の腕前も確か。作曲は中村明一に師事。作曲作品も多く、06年と10年に作品発表会を開催している。

大西さんも高橋さんも、箏の弾き歌いだった。「小中学生の部」の1席はやはり天才児と言われる岡山の佐竹真生子さん(14歳)が持っていた。箏の技術も高く、「おつきみ☆こうさぎ」は箏に合った、可愛らしい作品となっている。「お月さまのなかにはうさぎさんがいてね、おもちをついているのよ!幼いころ、おばあちゃんがそう話してくれました。うさぎはどうやってお月さまに行ったのかしら、おばあちゃんの温かい背中におぶさりながら、



大西直子さん



佐竹真生子さん

私はいつも考えていました」とメッセージ。佐竹さんは、昨年、大阪ユネスコ主催行事に招待され、自作曲「舞花」を上海万博日本館で演奏した。また今秋、「おかやま国際音楽祭エンターテイメント・チャレンジ・中学生部門」にて、自作曲「茜色の雪」で、バイオリンとの共演で本選出場が予定されている。

佐竹さんの「キセキの薔薇」は佳作となった(2作品応募)。やはり高得点を獲得した奥山恭永さん(12歳)の「水玉ほっちゃん」も佳作となった。来年、佐竹さんは高校生、奥山さんは中学生となる。今後が楽しみな逸材だ。

「メリークリスマス2011」「未来のふるさと」「おつきみ☆こうさぎ」は全邦連のホームページで聴くことが出来る。

### ●一般の部

1席 …… 大西直子(北海道)作詞・作曲  
「メリークリスマス2011」〈箏・歌〉

### ●小中学生の部

1席 …… 佐竹真生子(岡山)作詞・作曲  
「おつきみ☆こうさぎ」〈箏・歌〉